

ボタンの名称とモードの切り替え

(1) モードメニューの場合

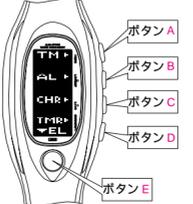


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like TM, AL, CHR, TMR, EL.

(2) 時刻・カレンダーモードメニューの場合

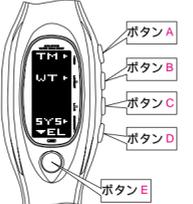


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like TM, WT, SYS, EL.

(3) アラームモードメニューの場合

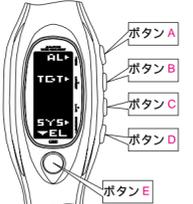


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like AL, TGT, SYS, EL.

(4) ストップウォッチモードメニューの場合

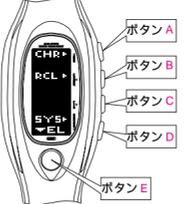


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like CHR, RCL, SYS, EL.

(5) タイマーモードメニューの場合

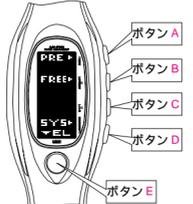


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like PRE, FREE, SYS, EL.

(6) システムモードメニューの場合

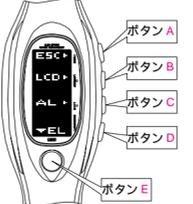


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like ESC, LCD, AL, EL.

(7) 表示メニューの場合

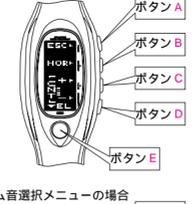


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like ESC, VRT/HOR, +, -, EL.

(8) アラーム音選択メニューの場合

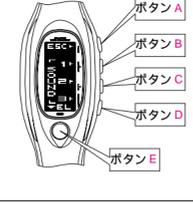


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like ESC, 1, 2, 3, EL.

製品の説明

時刻とカレンダーの使いかた
ターゲットタイムを設定した場合、設定タイムになると自動的にカウントUPの表示になります。現在時刻の表示にする場合は、ボタンAを押して、「メニューモード」表示にし、さらに、ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。

(1) ボタンの名称とはたらき

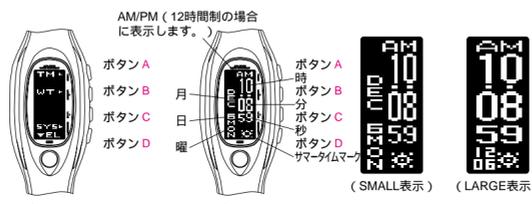


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like TM, WT, SYS, EL.

「システムモード」については、「システムモードの使いかた」をご参照ください。

(2) 時刻・カレンダーの合わせかた

ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。さらに、ボタンAを押して「時刻・カレンダーモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して「時刻・カレンダー」表示にしてください。
ボタンBを2-3秒間押し続けると、「TIME」が点滅して、「都市名」が表示し、「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
ボタンAを1回押すごとに次の順序で合わせたいところ(点滅部(都市名含まず))を選ぶことができます。年月日をセットすると「曜日」は自動的に設定されます。都市名を「GREENWICH」にすると「D.S.T.」の「ON」または「OFF」は表示しません。「D.S.T.」の「ON」を表示させると、「マーカ」が点灯し、1時間進みます。



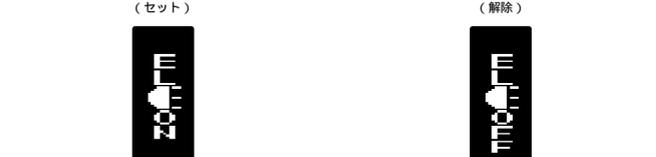
ボタンAを押すたびに修正箇所が替わります。
秒表示が30-59秒のとき、ボタンCまたはボタンDを押すと1分繰り上げて「00」に合います。時刻合わせは、電話の時報サービス(TEL.117)が便利です。
合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。また、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ戻ります。(「D.S.T.」「秒」「12H/24H」を除く。)

ボタンCまたはボタンDを押し続けると、早送りできます。
「時刻・カレンダー合わせ」が終わりましたら、ボタンBを1回押して「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。押し忘れた場合でも2-3分後に「時刻・カレンダーモード」へ自動的にもどります。
カレンダーは、1999年-2048年までの年、月、日、曜がプログラムされていますので、この間の月の大小やうるう年でも修正する必要はありません。
時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンCとボタンDが同時に押された状態です。その場合は、A B C D いずれか1つのボタンを押して、「時刻・カレンダーモード」にもどしてください。つぎにあらためて、上記のから合わせ直してください。

(3) アラーム音の試し聴き(サウンドデモンストレーション)と報時ならびに操作確認音のセットと解除



(4) オートパネライトのセットのしかた



ワールドタイムの使いかた
・ワールドタイムはSMALL表示のみの表示になり、ローカルタイム時刻と都市名表示になります。
・都市名表示は都市名が10文字以下の場合、都市名を全表示(省略なし)します。都市名が11文字以上の場合、ワールドタイムモードにしたとき及び、都市選択後、都市名の頭に を付け3回文字スクロールし、スクロール終了後、可能な範囲表示をします。

(1) ボタンの名称とはたらき



Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like TM, WT, SYS, EL.

(2) ワールドタイムの使いかた

ボタンBを押して「ワールドタイム」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して「モードメニュー」表示にしてください。さらにボタンAを押して「時刻・カレンダーメニュー」表示にし、ボタンBを押して「ワールドタイム」表示にしてください。
例：東京が午前10時8分8秒のとき、ロサンゼルス現在の時刻を調べる場合
現在時刻東京午前10時8分。ボタンAを1回押して「モードメニュー」表示にします。さらにボタンAを1回押して「時刻・カレンダーモード」表示にしてください。ボタンBまたは、ボタンDを押してロサンゼルスの都市を選び時刻を表示します。

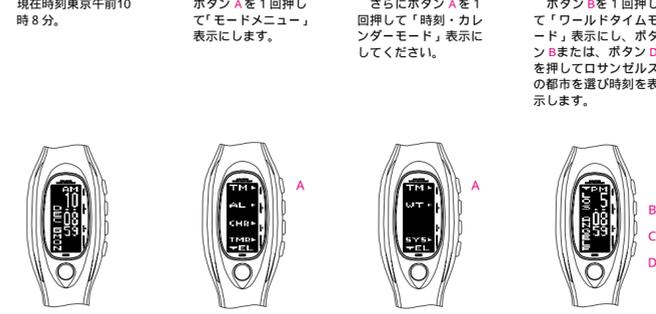


Table with 10 columns: 都市名 (City Name), 都市名(日本語) (City Name in Japanese), GMTとの差 (GMT Offset), GMTとの差 (GMT Offset), 都市名 (City Name), 都市名(日本語) (City Name in Japanese), GMTとの差 (GMT Offset), GMTとの差 (GMT Offset).

アラームの使いかた
・設定した時刻(時、分)で毎日報知するディレイアラーム機能付です。アラームのON/OFF(セット/解除)切り替えができます。
・設定した時刻は、「時刻・カレンダーモード」の時間に合致したとき報知します。アラーム音は3つの中から選択できます。(「システムモードの使いかた」を参照願います。)

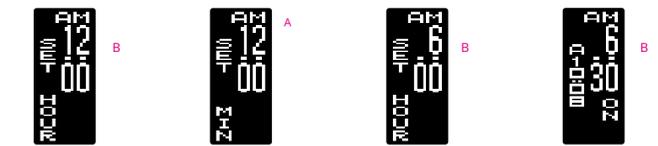
(1) ボタンの名称とはたらき



Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like AL, TGT, SYS, EL.

(2) アラームの使いかた

「アラームモードメニュー」表示において、ボタンAを押して「アラーム」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。さらに、ボタンBを押して「アラームモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して、「アラーム」表示にしてください。
例：アラーム時刻を「AM 6時30分」にセットする場合
ボタンB2-3秒押し続けると「ALAR M」が点滅して、「時」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
合わせたいところを点滅させたら、ボタンCまたは、ボタンDを押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。または戻ります。
セットが終わりましたらボタンBを押して「アラームモード」にもどしてください。
「ON」表示が点灯します。押し忘れた場合でも、2-3分後には「アラームモード」へもどります。



(3) アラームを鳴らしたい場合、鳴らしたくない場合



(4) 鳴っているアラームを止めるには

アラームは、セットした時間になると、20秒間鳴り続けます。鳴っているアラームを止めたい時はボタンA B C D E いずれかのボタンを押してください。
ターゲットタイムの使いかた
1. ターゲットタイムの初期設定が2001年1月1日になっています。ターゲット日までの残り数をカウントします。残り1日を切ったら残時間、1時間を切ったら残分、1分を切ったら残秒表示というように表示が変わります。また、タイムアップ後は、秒、分、時、日、年というように表示が変わり、9999日までカウントします。
2001年1月1日の午前0時にタイムアップし、ベートーベン交響曲第9番「歓喜」のメロディーと共に、世界11カ国で「新世紀おめでとう」のメッセージが順番に流れます。
2. ターゲットタイムは、任意に設定することができます。任意に設定すると、初期設定は、解除されます。1999年1月1日から2048年12月31日までの1日単位で任意に設定ができます。タイムアップ時には、タイムアップ音が5秒間鳴ります。(ベートーベン交響曲第9番「歓喜」のメロディー、メッセージは、行われません。)
3. 目的とする日付(年、月、日)を設定し、設定日になったとき、現在時刻が0、10、20、30、40、50分になった10分ごとに、タイムアップを表すメッセージをスクロールします。

(1) ボタンの名称とはたらき

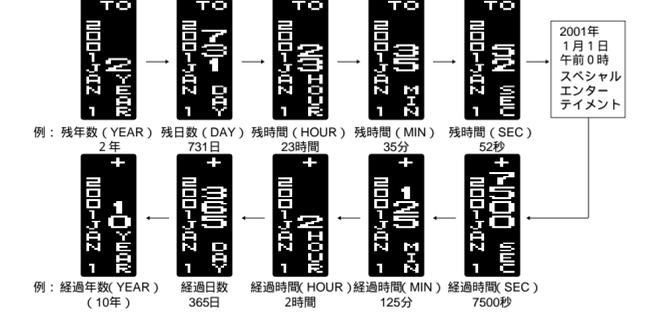


Table with 3 columns: ボタン (Button), モード (Mode), 表示 (Display). Rows include buttons A-E and their corresponding modes like AL, TGT, SYS, EL.



「アラームモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンBを押して「アラームモードメニュー」表示にし、ボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。

(2) ターゲットタイマー (初期設定: 2001年1月1日) の使いかた



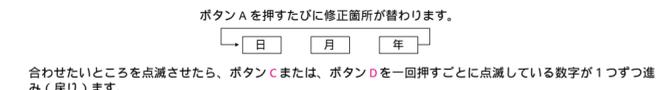
ターゲットタイム (設定した時間) を経過したときの、経過年、日、時、分、秒を表示します。
ボタンDを押すたびに経過時間の表示が替わります。



ターゲットタイム (設定した時間) に対する、残/経過年数の数値が50以上、残/経過時間 (日、時、分、秒) の数値が10000以上の場合は表示は、「」になります。



(3) ターゲットタイムを任意に設定する場合の合わせかた
「アラームモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示にしてください。
ボタンBを2-3秒間押し続けると「TARGET」が点滅した後、「日」が点滅表示し「ターゲットタイム」合わせ状態になります。
ボタンAを1回押すごとに合わせたいところ (点滅部) を選ぶことができます。



合わせたいところを点滅させたら、ボタンCまたは、ボタンDを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進み (戻り) ます。
ボタンCまたは、ボタンDを押し続けると、早送りできます。
セットが終わりしたらボタンBを押して「ターゲットタイマー」表示に戻してください。押し忘れた場合でも2-3分後はターゲットタイマーモードへ自動的に戻ります。

(4) メッセージ表示の動作
時刻・カレンダーモード」のとき、時刻表示の10分単位でメッセージを表示し、スクロールします。
A M 12:00 0分 10分 20分 30分 4分 11時40分 50分 24時間表示します。
時間帯によってメッセージ内容が変わります。
ランダムメッセージの種類は、あいさつ・ことわざ等があります。
なお、1月1日(2001年1月1日除く)、12月25日にはそれぞれ『A HAPPY NEW YEAR! JUST THE DAY!』 『MERRY XMAS! JUST THE DAY!』とあいさつ関係のメッセージを表示します。
メッセージ表示中にボタンA B C Dのいずれかを押すと、メッセージ表示を解除して通常表示になります。

ストップウォッチの使いかた

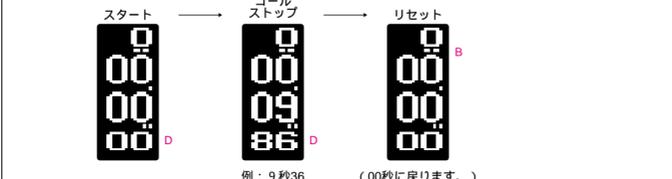
- ・1/100秒単位。最大計測時間は、9時間59分59秒99です。
- ・ラップ回数は、999回まで表示し、ボタン無操作で100時間以上放置された場合は自動的にリセットします。

(1) ボタンの名称とはたらき

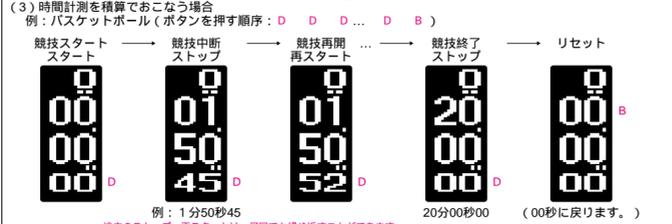


「ストップウォッチメニュー」表示において、ボタンAを押し「ストップウォッチ」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンCを押して「ストップウォッチメニュー」表示にし、ボタンAを押して「ストップウォッチ」表示にしてください。

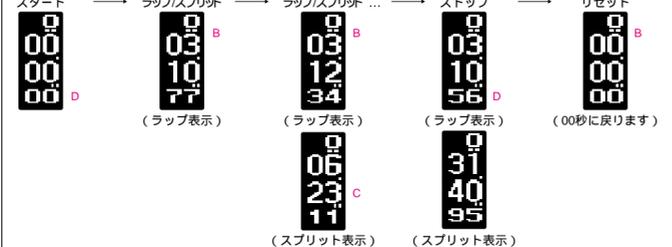
(2) 普通の使いかた
例: 100メートル競争 (ボタンを押す順序: D D B)



(3) 時間計測を種々なびこなす場合
例: バスケケットボール (ボタンを押す順序: D D D ... D B)



(4) ラップ計測とスプリット計測をおこなう場合
例: 10,000メートル競争 (ボタンを押す順序: D B B ... D B)



ラップ/スプリット計測後、ラップ/スプリット回数が点灯スクロールし、約10秒間表示をホールドします。その後自動的にストップウォッチ計測表示に戻ります。
途中のラップ/スプリットは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降1000 (表示: 000) 1001 (表示: 001) 1002 (表示: 002) と順次表示します。
ラップ表示/スプリット表示は、ボタンCを押すごとに切り替わります。
計測中に他の表示 (モード) に切り替えても計測は正常に継続されます。しかしこの場合、通常よりも多くの電池を消耗しますので、必要な時以外は計測を停止させてください。

(5) リコールの使いかた
計測途中、リセット状態のどちらでもメモリーの呼び出しができます。
計測後リセットしても新しく計測しない限り、メモリーは削除されません。
メモリーしているラップ/スプリットタイムのリコール (呼び出し) は、次の順序でおこないます。
例: リコール (呼び出し) 状態 (計測終了後)



「システムモード」については、「システムモードの使いかた」をご参照ください。

ボタンAを押して「メニューモード」表示にし、ボタンCを押して「ストップウォッチモード」表示にしてください。さらに、ボタンBを押して、「リコール」表示にします。最新区間のラップまたはスプリットタイムが表示されます。ボタンBを1回押すと、最初の[1]区間のラップまたはスプリットタイムを表示します。また、ボタンDを押すと前のデータが参照できます。また、ボタンDを1回押すと前のデータが参照できます。ボタンBを押すごとにラップ表示とスプリット表示の切り替えができます。

タイマーの使いかた

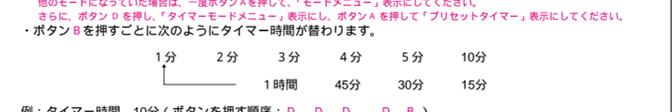
- ・1分、2分、3分、4分、5分、10分、15分、30分、45分、1時間の10c hの初期値がセットされたプリセットタイマーと、1分から9時間59分までの1分単位で可能なフリータイマーがあります。
- タイマーは、リピート (繰り返す) 機能のため、ストップさせないで最大10回繰り返し作動し停止し続けます。

(1) ボタンの名称とはたらき



「ストップウォッチメニュー」表示において、ボタンAを押し「ストップウォッチ」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンCを押して「ストップウォッチメニュー」表示にし、ボタンAを押して「ストップウォッチ」表示にしてください。

(2) プリセットタイマーの使いかた
「タイマーモードメニュー」表示において、ボタンAを押して「プリセットタイマー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンDを押し、「タイマーモードメニュー」表示にし、ボタンAを押して「プリセットタイマー」表示にしてください。
ボタンBを押すごとに次のようにタイマー時間が替わります。



途中のストップ、再スタートは、何回でも繰り返すことができます。
タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。
鳴っているタイムアップ音を止めたいときは、A B C D E、いずれか1つのボタンを押してください。
タイマーのリピート回数は、最大10回まで表示します。

(3) フリータイマーの合わせかた
「タイマーモードメニュー」表示において、ボタンBを押して「フリータイマー」表示にしてください。
他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてください。
さらに、ボタンDを押し、「タイマーモードメニュー」表示にし、ボタンBを押して「フリータイマー」表示にしてください。
フリータイマーは、1分から9時間59分までの1分単位で合わせることができます。

例: 1時間25分にセットする場合
「タイマーモードメニュー」表示において、ボタンBを2-3秒間押し続けると「TIMER」が点滅した後、「時」が点滅表示し「タイマー合わせ」状態になります。
ボタンAを押しますと、押すたびに「分」と「時」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。



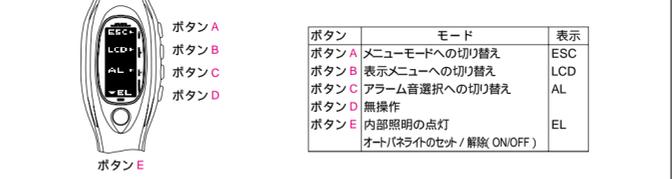
セットが終わりしたらボタンBを押して「タイマー」表示にしてください。
押し忘れた場合でも2-3分後には「タイマー」表示へ自動的にもどります。



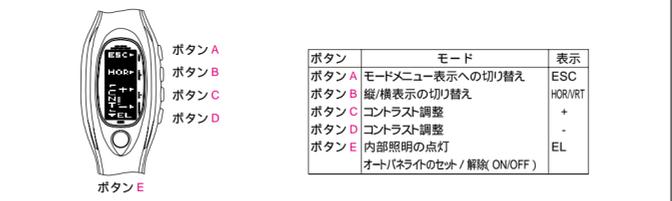
システムモードの使いかた

- ・表示コントラストの調整、縦/横表示切り替えができます。
- ・アラーム音を3つの中から選択することができます。
- 「モードメニュー」表示において、ボタンA、B、C、Dのいずれかのボタンを押すと「SYS」表示がボタンDの位置に表示しますので、ボタンDを押して「システムモードメニュー」表示にしてください。他のモードになっている場合は、一度ボタンAを押して、「モードメニュー」表示にしてからおこなってください。

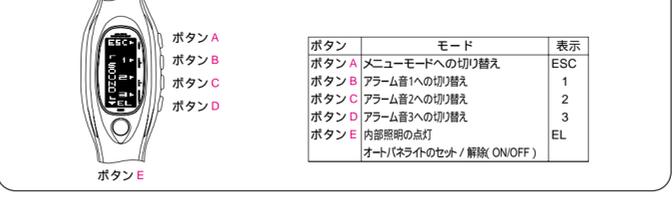
(1) ボタンの名称とはたらき



(2) 表示メニューの使いかた
「システムモードメニュー」表示よりボタンBを押して「表示メニュー」表示にしてください。
縦/横 (HOR/VRT) 表示の切り替えは、ボタンBを押すごとに切り替わります。
コントラスト調整は、ボタンCを1回押すとコントラスト表示が1つ上になります。また、ボタンDを1回押すとコントラスト表示が1つ下がりますので、コントラストの調整ができます。



(3) アラーム音選択のしかた
「システムモードメニュー」表示よりボタンCを押して「アラーム音選択メニュー」表示にしてください。
アラーム音は、3つの中から1つ選択することができます。



電池交換後のお願い (システムリセット)

- ・電池交換後や万一異常な表示 (読めない表示など) をした場合は、以下の操作を行ってください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

システムリセットのしかた
A B C D 4つのボタンを同時に2-3秒間押し続けてください。
表示が消え、ボタンを離すと、メニュー表示になります。次にボタンAを押すと「AM 12:00 00JAN 1 FRI」の表示になります。

